



15 陸の豊かさも
守ろう

陸の豊かさも守ろう

環境への負荷が少ない農業を実践して、陸上や淡水地域の生態系を守りましょう。JAでは農産物の残留農薬検査や生産履歴の確認を行い、その結果を生産部会や市場関係者らと定期的に共有して意見を交換しながら、安全で環境負荷の少ない農業生産をすすめています。また、外来種の存在は、もともとの自然環境やわたしたちの安全を脅かすことがあります。外来生物を放したり、その地域に自生していない植物を農地や花壇などではない自然の場所に植えたりすることはとても危険です。見慣れない外来種を見つけた場合は、速やかに関係機関に連絡しましょう。



残留農薬などの
検査結果を確認する
JA、生産部会、市場関係者ら



16 平和と公正を
すべての人に

平和と公正をすべての人に

あらゆる人が法律や制度で守られ、平和かつ平等に生きられる社会を目指します。時代の移り変わりとともに犯罪が複雑化しているなか、JAは防犯訓練や防止啓発運動、法やルールにしたがった事務処理や点検などを行うことで、犯罪行為や不正な取引を防止し、平和な地域社会づくりにつなげます。同時に、役職員間のあらゆるハラスメントや差別なども防ぐため、研修やストレスチェック、ヒアリングなどを定期的に実施しています。自分の身の回りで、不当な扱いや無意識のうちの偏見などはありませんか？いまいちど見直してみましょう。



商品の悪用を防ぐため
グリーンセンターで販売対応訓練



17 パートナーシップで
目標を達成しよう

パートナーシップで目標を達成しよう

グローバルな目標であるSDGsは、皆で取り組むことで大きな効果を発揮します。地球環境や社会が世界中でつながっていること

同じように、わたしたちも様々な場面でつながりを持ち、パートナーシップ（協力関係）を強化していくことが大切です。農業面では、耕畜連携や農福連携などが一例に挙げられます。JA秋田なまはげは、秋田商工会議所などとの「秋田市有望産品商品開発協議会」や、管内の秋田市、男鹿市、潟上市との「秋田中央地域地場産品活用促進協議会（「農家のパーティ」ネットワーク）」などによって、管内産品の商品開発や地域のにぎわいづくりに励んでいます。

農家のパーティ」ネットワークの
地元産品応援セール

